

情 報 公 開 文 書

研究の名称	セメント注入型スクリューにおけるセメント漏出に関わる危険因子の検討
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	整形外科 牧野 紘士
研究の概要	【研究対象者】 2022 年 3 月 1 日以降にセメント注入型スクリューを用いて脊椎固定術を受けた患者さん 【研究の目的・意義】 セメントを用いたスクリューは骨強度の低下した脊椎に対する固定術の成績向上に有用ですが、脊柱管内および静脈内への漏出が一定の割合で発生し、まれではありますが、致死的な肺塞栓症の発生も報告されています。しかし漏出に関わる因子はいまだ不明であるため、それを明らかにすることが目的です。 【研究の方法】 手術前後に取得した画像検査や診療情報を用いて、セメント漏出に関わる因子を評価します。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日 【利益相反】 なし 【研究結果の公表の方法】 学会や科学専門誌などへの発表を予定しています。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	通常の前評価で用いる検査 (X 線、CT、MRI)、術後検査 (X 線、CT、MRI) および診療記録 (電子カルテ) から情報を取得します。他機関への提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院長 山本 善裕
研究資料の開示	研究対象者等 (研究対象者および親族等関係者) のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究代表機関における研究責任者の所属・氏名)	整形外科 牧野 紘士
研究対象者等 (研究対象者および親族等関係者) からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外 (試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む) を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7353 FAX 076-434-5035 E-mail hiroto@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 整形外科・牧野紘士